



[写真上] 年末年始のイルミネーション
[写真下] 宮の市にあわせて行った青空市は大人気でした

宇都宮商店街めぐり 第10回

東武馬車道通り商店街
振興組合

「商店街の連携で、 魅力ある中心商店街の 創出を」

東武百貨店とオリオン通り・ユニオン通りの要に当たる、古くからの商店街です。女性パワーでがんばる東武馬車道通り商店街をご紹介します。

「東武一番通り」の名前で覚えている方も多いでしょう。東武鉄道が敷設された昭和6年当時、貨物を運ぶために多くの馬車が行き交っていたことから、平成16年に現在の名前となりました。同時期に街路灯や歩道などまちなみの整備も行い、おしゃれな街に生まれ変わりました。

理事長の上野すみ子さんは、昭和28年から現在の場所で営業している上野文具(株)の監査役でもあり、それだけに思い入れも人一倍深いものがあるようです。

「立地に恵まれた商店街なんです。鉄道駅（東武鉄道）やバスの停留所もありますし、巡回バスも通っていますから」女性客が多いのも、他にはない特徴です。また、飲食店の割合が高く、古くからのお店が残っています。

最近では冬のイルミネーションも定着し、街ゆく人の目を惹きつけています。

「今のテーマは、他商店街等との連携です。自分たちだけでやれることには限界があります。オリオン通りやユニオン通り、バンバ通りなど、複数の商店街等と協力し合って、中心部を盛り上げていきたいと思っています」

その一つが、「みやヒルスどっここむ」です。東武百貨店とオリオン通りやユニオン通り、そして馬車道通りが協力し合ってさまざまなイベントを行っています。これからの予定では、2月に「第1回みやのひなまつり」と題

したイベントを行うことになっています（2月4日～3月3日）。

「厳しい景気が続きますが、消費者は本当に欲しいものにはお金を使ってくれます。お客様に喜んでいただける品揃え、サービスを提供できる商店の集まった街になりたいですね」

11月にはインターネット上に公式サイトがオープンしました（<http://www.ubashamichi.jp>）。これからの盛り上がりも期待できそうです。



東武馬車道通り商店街振興組合
理事長 上野すみ子さん

※このコーナーは隔月で掲載します。

